

列1	列2	列3 農産物	列4 GFSI	列5 GFSI	列6	列7 GFSI	列8	列9 水産物	列10	列11	列12 全般	列13	列14
	「持続可能性と食の制度の特徴」	GFSI	Global Gap	JGAP	FSMS	FSSC	食品安全マネジメント協会	GSSI制度	MSC認証	MEL認証	ISO14001	ISO9001	ISO 45001 (労働安全衛生)
	制度の特徴		制度発足 2000年。青果物、(穀物)、コーヒー、茶、花き、家畜、水産養殖、主に海外品。国内農家数(認証数)196(世界140,000)130,000青果物5000家畜100-200果物・野菜(国内)	制度発足 2006年。野菜、果物、穀物、茶主に国内品(台湾、韓国も含む)国内認証農場数 2,529	制度発足 2006年。一次産品、小売、製造、加工に利用。国内認証数 1,043(世界 30,500)	制度発足 2009年。動物性製品(肉、卵、乳製品)、魚介類加工品等 植物性製品、常温長期保存品、化学製品製造 国内認証数 1,227(世界 11,454)	制度発足2016年 HACCP 日本らしい 食品安全管理	制度発足 2012年。	制度発足 1997年。認証された漁業による水揚げ量が世界全体の約7%。ヨーロッパや北米中心。	制度発足 2007年。FAO基準に基づき認証。国内水産物 23認証	規格発行 1996年	規格発行 1987年	OHSAS制度 1999年。現在 ISO45001 開発中。
全般	法令順守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	トレーサビリティ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サプライチェーンへの働きかけ	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	
	透明性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加担の回避	○	○	○									
	物品・サービス等での安全性及び衛生面での配慮	○	○	○	○	○	○	○	○	○		△	○
	宗教的・文化的多様性への配慮	-	-	-							○		
環境	省エネルギー	-	○	○							○		
	低炭素・脱炭素エネルギーの使用	-	○	-							○	△	
	その他の方法による温室効果ガスの削減(メタン、フロン等)	-	-	-					○	○	○	△	
	資源保全に配慮した原材料の採取	-	-	○					○		○	△	
	生物多様性の保全	-	○	○							○	△	△
	容器包装の低減	-	-	-	△	△					○	△	
	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	-	○	-							○	△	
	汚染防止・化学物質管理	△	○	○							○	△	△
	動物福祉	-	-	-							○	△	
	食品ロス削減	-	-	-	△	△					○	△	
	放射能試験結果に基づく安全性	-	-	○	△	△					△	△	
人権	国際的人権基準の遵守	-	-	-									
	差別・ハラスメントの禁止	-	-	-									
	地域住民等の権利侵害の禁止	-	-	-									
	女性の権利尊重	-	-	-									
	社会的少数者(マイノリティ)の権利尊重	-	-	-									
	プライバシーの保護	-	-	-									
	障がい者の権利尊重	-	-	-									
労働	結社の自由・団体交渉権	-	△	○									○
	強制労働の禁止	-	△	○					○				○
	児童労働の撤廃	-	△	○					○				△
	雇用及び職業における差別の禁止	-	△	-									△
	長時間労働の禁止	-	△	○									○
	生活賃金	-	△	○									△
	外国人労働者	-	△	○									○
	職場の安全・衛生	-	○	○								△	○
経済	地域経済の活性化	-	-	○			○		○△	○			△
	腐敗の防止	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	公正な取引慣行	-	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	紛争や犯罪への関与のない原材料の使用	-	-	-					○		△	△	
	知的財産権の保護	-	-	○								△	
	責任あるマーケティング	-	-	-					○				
	情報セキュリティの強化	-	-	-								△	

「第三者評価活用」という意味で○としました。

「環境への配慮」というより

リスク分析を要

これらの項目はGFSIメンバーにとっての競争領域であり、標準化には馴染まないという判断だ

評価 基準に明示されている場合 ○ 規格・基準には明示はないが、対応できる仕組みがある △ 将来的に国際制度になりうる場合 △

NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット「持続可能な調達勉強会」資料 2016, 6, 10 (7.26改訂) ※勉強会資料のため、今後ご意見を伺いながら改訂してまいります。

GFSI制度には、BRC(英)、CANADA GAP(加)、Global Aquaculture Alliance、GRMS (Global Red Meat Standards)、IFS (International Featured Standard)(独)、Primus GFS、SQF (Safe Quality Foods)(米)